

## 「平成25年度 大学と県教育委員会との連携推進会議」議事概要

1. 日時 平成26年1月30日（木）15時～17時
2. 場所 愛知県白壁庁舎5階第4会議室
3. 出席者 資料中の「出席者名簿」のとおり

### 4. 議事概要

#### (1) あいさつ

愛知県教育委員会 野村教育長

#### (2) 「あいちの大学『学び』フォーラム」について

愛知県教育委員会より資料1により説明。

##### (出席者)

平成25年度「あいちの大学『学び』フォーラム」において、90分の講座を「あっという間だった」という参加生徒もいれば、「長かった、難しかった」という参加生徒もいるが、平成26年度の開催においては、講義時間は未定ということによいか。

##### (愛知県教育委員会)

平成26年度の講義時間については、平成25年度と同様に90分を原則として実施してまいりたいと考えている。

##### (出席者)

生徒が1日にいくつかの講座に参加する場合を想定すると、90分の講座を受けた後に、さらにまた90分の講座を果たして受講するののかということに疑問を持っている。講座を2つ、3つと受講することも考えると講義時間は45分でもいいのではないかという思いもある。

学びフォーラムの趣旨として、「大学の講義を体験する」ということがあるので、運営は県教育委員会にお任せするが、講義時間は90分で決まっているということか。

##### (愛知県教育委員会)

おっしゃるとおりで、時間設定は90分で予定している。実際のところ、最大で1日3講座を開催したが、生徒によっては2つないし3つの講座を連続して受講していることもあった。

##### (出席者)

本年度の学びフォーラムにおいて講師を担当したが、担当講座の参加人数は少なかったものの、当日は女子生徒の参加が多く、また、2講座を連続して受講する生徒がほとんどだった。参加生徒は大変熱心で、講義中に気分が高揚して気持ちよく講義できた。講義終

了後に参加生徒からの感想一覧を教育委員会からいただいたが、その中にも「大変興味を持てた」、「楽しい授業だった」という感想があり、担当して良かったと思った。

この取組については、高校生のみならず、我々教員にとっても有意義であると感じている。

(出席者)

私も本年度の学びフォーラムにおいて講師を担当したが、参加生徒は真面目に聞いてくれた。講義で一番ウエイトを置いたことは、「大学というところは主体的に学ぶところであって、自分の考えを作っていく場所」ということである。生徒に対しては、「あなただったらどうしますか」という風に投げかけながら講義を進行したが、生徒は「学ぶ」ということについて、非常によく考えてくれたと思う。

90分の講座は、あっという間に終わったというのが私の実感である。生徒も苦痛に思っていなかったように観察しており、一生懸命聞いてくれたことに感謝している。

(出席者)

本学は、講座・会場ともに今回協力しているが、担当した講師に話を聞いたところ、生徒が大変熱心だったようだ。本学の交通の便については、駅から少し歩いたところになるが、生徒が集まってくれてよかった。

(出席者)

平成26年度の開催については、交通の便がよいところで調整するとのことだが、実際に三河地区の生徒が名古屋まで行くのは大変である。そういう意味では、本年度に西三河で開催したことはよかったと思う。参加生徒が集まるのは名古屋かもしれないが、何らかの形で三河のどこかでも開催できるとよい。

(出席者)

本年度の学びフォーラムにおいて、参加生徒数が約450名ということだが、全日制の高校生が1学年あたり約6万7千人いることを踏まえると参加が少なく感じる。5割以上の高校生が大学進学をする時代において、高校生の中間層を分厚くすることは大切で、学びフォーラムの趣旨でもある「大学での学びがどういうものなのかを理解してもらう」ことは大事なことである。

今後の取組として、例えば、実際に大学で意欲的に学んでいる学生の話が聞けるようなものがあってもよいのではないかと。

### (3) 「大学生による学校現場での学習支援の充実に向けた情報交換会」について

愛知県教育委員会より資料2により説明。

(出席者)

本学は日程の都合が合わず、本年度は欠席とした。

本学は地域密着型の大学として、既に地元の市町村教育委員会との連携があり、また、実際に地元の学校へ多数のボランティアを派遣している実績もある。今後、こうした全体の情報交換会に参加するメリットがあるのか。

(愛知県教育委員会)

市町村教育委員会からは、大学生がよくやってくれているという意見もあり、また、例えば特別支援教育などの現場ではさらにお手伝いいただきたいという声もある。即戦力とはいかないかもしれないが、学生に子どもの近くにいるだけで助かるという声もある。

一方、学生にとっても良き学びの場面となっており、参加した学生に対して市町村教育委員会から教員を目指すにあたってのアドバイスもできる。

双方にとってメリットがあると思われるため、情報交換会に参加いただけるのであればお願いしたい。

(4) 「あいちの学校連携ネット」について

愛知県教育委員会より資料3により説明。

(5) その他

愛知県教育委員会より資料4～6について説明。

以 上